

# 第26回環境地質学シンポジウム

主催：社会地質学会（旧名称：地質汚染—医療地質—社会地質学会）

共催：日本地質学会，日本鉱物科学会，日本情報地質学会，日本第四紀学会，内閣府認証(NPO)日本地質汚染審査機構，IUGS-IFG, Japan chapter of IMGA

期日：2016年11月25日（金）・26日（土）

会場：日本大学文理学部図書館3階コンピュータセンター オーバル・ホール (11/25)



## 日本大学文理学部 8号館 1階レクチャーホール(11/26)

(最寄駅：京王線「下高井戸駅」もしくは「桜上水駅」 会場まで各駅から徒歩8分)

地図HP <http://www.chs.nihon-u.ac.jp/access/>

参加費（論文集込み）：社会地質学会員 6,000円 非会員 8,000円

\* 非会員で共催・協賛団体会員は非会員費用から一律1,000円引 学生 無料（論文集無し）

\*\* CPDの取得が可能となりました

特別講演：東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会 スポークスパーソン 小野 日子氏

### 「組織の効果的な広報について」

開始時間	演題・演者
	25日(文理学部図書館3階コンピュータセンター オーバル・ホール)
09:35	開会のあいさつ 村尾 智 社会地質学会会長
<b>地球倫理</b>	座長：
09:45	地下水資源の課金について 高嶋 洋(野田市土木部管理課)
10:00	地球倫理規範の事例 西脇二一(奈良大学)
10:15	キンバリープロセスの課題と改善へ向けた提言 村尾 智(産業技術総合研究所)・村上 千恵
10:30	モンゴル国の人力小規模採掘現場で使われる水銀の出所について(ポスター紹介) Janmabardorj Uramгаа (Sans Frontiere Progres), Satoshi Murao, Sainbileg Minjin and Baatar Tumenbayar
10:35-10:45	セッション討論
11:00-12:00	<b>特別講演 東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会</b> 小野 日子氏

### 「組織の効果的な広報について」

12:00-13:15	昼食
13:15-13:35	一日目発表のポスターコアタイム
<b>人力小規模採掘と医療地質</b>	座長：
13:40	Type and crystallography of fluorite deposits in Mongolia Baatar Tumenbayar (Sans Frontiere Progres) and Satoshi Murao
13:55	江戸時代(1840年)に記録された新潟県佐渡島相川鉱山のじん肺 —その3: 病気と治療薬に関する補遺— 仲川 隆夫(環境地質研究者)
14:10	人力小規模金採掘が農水産物に与える水銀汚染の時空間的影響評価と対策手法 —①環境中の水銀濃度の分析— 柴田 晴音(名古屋大学)・竹中 千里・富安 卓滋・田和 康太・野中 健一・宮川 修一・村尾 智
14:25-14:35	セッション討論

<b>地球観測の手法</b>	座長：
14:40	河川モデル AIST-SHANEL の普及展開の取り組み (招待) 石川 百合子 (産業技術総合研究所)
15:10	GIS data sharing system for sustainable resource development in Bor, Serbia Shinsaku Nakamura (宇宙システム開発利用推進機構), Saša Stojanov, Kazuyo Hirose, Tomomi Takeda, Sachi Wakasa and Vladan Marinkovic
15:25	途上国を対象とした水銀のマテリアルフロー推定手法の開発(ポスター紹介) 布施 正暁(広島大学大学院)・村尾 智
15:30-15:40	セッション討論

<b>地質災害</b>	座長：
15:45	東京湾北部の埋立地における人工地層～沖積層の層序 2011年東北地方太平洋沖地震時の液状化～流動化現象: 船橋市日の出町・市川市行徳での調査から(ポスター紹介) 風岡 修(千葉県地質環境研究室)・宇澤 政晃・榎山 知代・荻津 達・八武崎 寿史・香川 淳・吉田 剛・加藤 晶子・本田 恵理・小倉 孝之
15:50	東京湾北部の埋立地における2011年東北地方太平洋沖地震時の液状化～流動化の層序: 市川市行徳・船橋市日の出の調査から(ポスター紹介) 宇澤 政晃(関東建設)・榎山 知代・風岡 修・荻津 達・八武崎 寿史・香川 淳・吉田 剛・加藤 晶子・本田 恵理・小倉 孝之
15:55	日本の人工地層記載用語について—地質汚染と地学災害について— 榎井 久(日本地質汚染審査機構)・Jonas Satkunas・風岡 修・三田村 宗樹・川辺 孝幸・古野 邦雄・榎山 知代
16:10	2014年長野県北部地震の地震地質学的検討 川辺 孝幸(山形大学地域教育文化学部)
16:25	2016年熊本地震の地震地質学的検討 川辺 孝幸(山形大学地域教育文化学部)
16:40	地震時の衝撃波と噴霧現象 榎井 久(日本地質汚染審査機構)・殿上 義久
16:55	埋立地における液状化～流動化: 地震動と間隙水圧の関係 荻津 達(千葉県地質環境研究室)・酒井 豊・加藤 晶子・風岡 修・香川 淳・吉田 剛・八武崎 寿史・亀山 瞬
17:10	トレンチ調査の結果分かってきた液状化～流動化のメカニズム: 2011年東北地方太平洋沖地震時に液状化～流動化した香取市と田浦での調査結果から 風岡 修(千葉県地質環境研究室)・水野 清秀・小松原 琢・古野 邦雄・吉田 剛・宮地 良典・森崎 正昭・香川 淳・細谷 卓志
17:25-17:35	セッション討論

<b>国際協力</b>	座長：
17:40	小規模金採掘コミュニティにおける最近の国際協力の動向に対する考察 新海 尚子(名古屋大学大学院)
17:55	IUGS-GEM (国際地質科学連合・環境管理研究委員会)の活動 古野 邦雄(IUGS-GE 日本支部)・榎井 久・Brian Marker
18:10	鉛 IUGS-IFG の活動と第35回 IGC における法地質学セッション 杉田 律子(科学警察研究所)
18:25-18:35	セッション討論
18:40-18:50	総合討論
18:50-19:00	1日目発表の講演賞・奨励賞表彰

開始時間	演題・演者
	26日(文理学部8号館1階レクチャーホール)
<b>古環境変遷と地質環境の形成過程</b>	座長：
09:20	東北日本の更新世における赤色土の生成北限と上限 仲川 隆夫(環境地質研究者)
09:35	愛知川河口沖コアの珪藻化石群集に基づく琵琶湖の湖水面変動の復元(予察) 鈴木 勇志(早稲田大学大学院)・井内 美郎・大塚 佳祐
09:50	霞ヶ浦過去約500年間の水域環境変遷史(ポスター紹介) 木下 愛海(早稲田大学人間科学部)・宮村 笑子・天野 敦子・井内 美郎
09:55	福島県猪苗代湖のイベント堆積物(予報)(ポスター紹介) 井内 美郎(早稲田大学人間科学部)
10:00-10:10	セッション討論
<b>市場経済移行国における鉱物資源開発に関するガバナンス (科研費報告セッション)</b>	座長：

10:15	「後発国のメリット」再考—ベトナムの大規模資源開発の現状から— 中野 亜里(大東文化大学国際関係学部)・村尾 智
10:30	ベトナムの資源開発と国営企業改革の行方—ボーキサイト・アルミナ開発を中心に— 遠藤 堂太(エヌ・エヌ・エー編集局)
10:45	ハティン省における海洋汚染問題と政府の対応 小高 泰(拓殖大学国際学部)
11:00	New governance for the artisanal/ small-scale mining issues in Mongolia Satoshi Murao (産業技術総合研究所) and Sainbileg Minjin
11:15-11:25	セッション討論

<b>地下水盆管理・地質環境の形成過程およびその持続的利用</b>	座長：
11:30	富士山をめぐる水循環 (招待) 輿水 達司(山梨県立大学)
12:00-13:00	昼食
13:00-13:50	<b>社会地質学会総会</b>
13:55-14:15	二日目発表のポスターコアタイム

<b>地下水盆管理・地質環境の形成過程およびその持続的利用</b>	座長：
14:20	観測井を用いた関東地下水盆管理とその地下水位変化 古野 邦雄(千葉県地質環境研究室)・香川 淳・八武崎 寿史・風岡 修・潮崎 翔一・楠田 隆・榎井 久
14:35	健全な地下水資源の利用に向けて—産業廃棄物最終処分場及び土壌・地下水汚染対策現場を例として— 田村 嘉之(千葉県環境財団)
14:50	2100年における九十九里地域の累積沈下と潜在海域 八武崎 寿史(千葉県地質環境研究室)・風岡 修・香川 淳
15:05-15:15	セッション討論

<b>鉱物と地質環境</b>	座長：
15:20	微粒子や鉱物微小領域評価のためのイオンマイクロビーム発光連続分析技術(ポスター紹介) 加田 渉(群馬大学大学院)・川端 駿介・佐藤 隆博・江夏 昌志・山田 尚人・三浦 健太・神谷 富裕・花泉 修
15:25	鉱物の風化作用と地球化学的影響—山形県西山鉱床地域について— 林 世峻(山形大学理工学研究科)・五十公野 裕也・安孫子 千晶・朽木 しおり・中島 和夫
15:40	焼却灰の不溶化処理で生成される結晶性物質について 木村 和也(医療地質研究所)・榎井 久・相川 信之
15:55	焼却灰の重金属除去と不溶化技術の検証—その2— 木村 和也(医療地質研究所)・榎井 久
16:10	戦災樹木表皮上に存在する鉛の同位体比 高階 義大(洛菱テクニカ)
16:25-16:35	セッション討論

<b>有害地質・地質汚染とその対策</b>	座長：
16:40	千葉県習志野市・八千代市・印西市の透水層構造と地質 —地質汚染対策に向けての一資料—(ポスター紹介) 吉田 剛(千葉県地質環境研究室)・風岡 修
16:45	多孔質染色汚泥・珪藻土顆粒のカドミウム吸着性に及ぼす pH の影響 福山 厚子(福井大学)・堀 照夫・葛原 正明・米沢 晋
17:00	ナノバブル水及び油分ナノ分解微生物分解栄養剤の添加に伴う 土壌油分濃度低下の実験結果についてを例として— 打木 弘一(基礎地盤コンサルタンツ)・野田 典広
17:15	東日本大震災より発生した津波堆積物中の金属類の解析及び ヒ素の形態分析による健康リスク評価
17:30	中臺 大幾(医療地質研究所)・榎井 久・駒井 武・中村 謙吾・川辺 能成 大阪湾岸域の埋立地における地質汚染 笠原 茂(メーサー)
17:45-17:55	セッション討論
18:00-18:25	総合討論
18:30-18:40	2日目発表の講演賞・奨励賞表彰・閉会